

平成19年度第1回川崎区区民会議

日 時 平成19年5月31日(木)午後6時30分

場 所 川崎区役所7階第1会議室

出席者(敬称略)

(1) 委員 18名

弾塚誠、須山令子、森教祐、古川博子、長谷川幸子、原田歩、猪熊俊夫、金岩勇夫、中村紀子、藍原晃、島田潤二、田辺富夫、魚津利興、朴栄子、青木恵美子、荒井敬八、小笠原功、星川孝宜

(2) 参与 9名

市議会議員：飯塚正良、小林貴美子、嶋崎嘉夫、西讓治、浜田昌利、林浩美、宮原春夫
県議会議員：杉山信雄、武田郁三郎

議題及び公開・非公開

(1) 平成19年度審議テーマの選定について(公開)

(2) 専門部会の設置及び専門部会委員の選任について(公開)

(3) その他(公開)

- ・都市計画マスタープランについて
- ・平成18年度審議テーマに関する実行計画の進捗状況について

傍聴人数 3人

午後 6時30分 開 会

1 開 会

事務局 <会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録としての写真撮影を説明>

2 委員長あいさつ

委員長 昨年度は「区のイメージアップ」と「子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援」の2つのテーマを取り上げ、単なる提案にとどまらず、いつまでに、誰が、何を、どのように実行するのかを明確にして検討をした。現在もこの2つのテーマの課題解決に向けた取り組みが進められている。

今年度も実行できるテーマを選定したい。必要があれば、専門部会を立ち上げて取り組んでいきたい。

事務局 <配布資料の確認、本日のスケジュールの説明、出席者（委員・参与・事務局職員）の紹介>

3 議 題

（3）その他

- ・都市計画マスタープランについて
- ・平成18年度審議テーマに関する実行計画の進捗状況について

委員長 本日は3つの議題があるが、順番を入れ替えて最初に「（3）その他」の都市計画マスタープランと平成18年度審議テーマに関する実行計画の進捗状況についての報告を受け、その内容も参考にして今年度の審議テーマを選定したい。

都市計画マスタープランについて、まちづくり局都市計画課に説明をお願いします。

事務局 <都市計画マスタープランを説明>

委員長 平成18年度の審議テーマに関する実行計画の進行状況について、事務局から報告をお願いします。

事務局 <資料3区のイメージアップ実行計画の進捗状況と資料4次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援実行計画の進捗状況を説明>

委員長 区民の立場から委員に「川崎駅周辺の公共看板の見直し」「まちを花で飾る」「オープンカフェの実施」の報告をお願いします。

委員 「まちを花で飾る」についてだが、3月24日に開催された区内の中学校区地域教育会議の交流会で、川中島中学校区地域教育会議の花を飾る活動が紹介された。アメフトワールドカップ終了後も活動を継続していきたい。

「川崎駅周辺の公共看板の見直し」についてだが、2月16日に実施した「まち歩き」で川崎駅周辺の実態を調査したところ、放置自転車や路上喫煙の禁止を啓発するポスターなどに統一性がなかった。そこで、まちの美観を守るためにも統一的なデザインにする方向で検討を進めてきた。区民として自ら実施しようと中央まちづくりクラブが中心になって、6月6日（水）9時30分から川崎駅周辺の街路灯に放置自転車・路上喫煙禁止を啓発する黄色いステッカーを貼り付ける。委員の皆さんにも参加していただけるとありがたい。

それから、アメフトワールドカップを盛り上げるため「オープンカフェの実施」に向けて取り組みを進めている。一昨年の市制80周年の際に稲毛公園で「川崎区の今昔」としていろいろなイベントを実施したが、そのイベントを再現しようと、写真パネル展、オープンカフェ、バンド演奏、チアリーダーディングなどを企画している。川崎駅から川崎球場へ行く間を盛り上げようと思っている。

委員長 「まちを花で飾る」取り組みの報告があったが、今日は実際にまちに飾るプランターを持ち込んでいるので、海風の森をMAZUつくる会の会長でもある委員に報告をお願いしたい。

委員 まちの花の現状を2月16日のまち歩きで確認したところ、パンジーなどが植えてあってもその前に自転車が置いてあって目立たない状態だった。そこで、自転車くらいの背丈があるひまわりや葉ケイトウを植えることを考えた。大島二丁目に毎年葉ケイトウを育てている人がいたので種を分けてもらった。

区役所からも海風の森をMAZUつくる会で、花を飾る取り組みができないだろうかと相談があったので、これまで活動してきた臨海部の浮島公園だけでなく、今後は川崎駅周辺でも活動しようと思い、引き受けた。

葉ケイトウを2本植えるプランターを200鉢つくるので、苗は400本あれば良いのだが、失敗して足りなくなると困るので900本つくった。南部公園事務所に依頼して富士見テニスコートの裏の場所を借り、プランターに苗を植えた。今日持ち込んだプランターはその中で一番早く成長したものである。

プランターを置く商店街の人と相談したところ、業務用車両の出入庫に影響があるので、これくらいの大きさのプランターを2つ置くことになった。

もっとも成長した段階では、一番上の葉が丸く朱色になり、とても見事である。通勤や買い物など、頻繁にそこを通る人は成長を確認できるので、興味を持ってくれると思う。

(1) 平成19年度審議テーマの選定について

委員長 各委員に事前に調査書を提出したいいただき、その結果をまとめたので、事務局に説明をお願いする。

事務局 <平成18年度川崎区区民会議アンケート報告書のアンケート集計結果及び資料1平成19年度川崎区区民会議の審議課題に関する調査結果を説明>

委員長 資料1は各委員の意見をまとめたものであるが、自分がアンケートに答えたこと

以外でも構わないので、意見ををお願いしたい。

委員 商店街のはみ出し陳列やごみの放置が問題だと思う。はみ出し陳列は警察に連絡した方が良いのかどうかも悩んでいる。

委員 安全・安心が重要だと思う。

委員 子育てについて、昨年度は地域見守り看板などでいろいろな成果が得られたと思うが、密室育児という状況が改善されていない。一定の地域になるかも知れないが、マンションが増加している。その中で孤独に育児をしている場合がある。昨年度も隣のおばちゃん制度の提案があり、こども総合支援ネットワーク会議でも子どもの相談窓口ができたという内容の報告があったが、孤独に子育てをしている人の声を、もっと身近に受け止めてくれるところがあると安心して子育てができると思う。

委員 渡田地区で実施している青色回転灯装着車によるパトロールは良いと思う。
地域見守り看板も通学路のほとんどのところに掲示してあり、良かったと思う。

委員 子育てと安全・安心が重要だと思う。安全・安心はイメージアップ部会でも一部取り上げたが、これらが解決していないのに次のテーマを探してもいいのだろうかと思う。商店街の店舗前に、はみ出して置かれている大きな看板などは、大地震が来た時に危険である。強く抗議しないとダメだと思う。

高齢化社会における地域防災については、各町内会に立派な防災組織があるが、防災訓練では防災組織間の連携が取れていなかった。災害ボランティアが来てくれても、受け入れ態勢ができない。

安全・安心、放置自転車、子育て支援などをもっと実施してくべきだと思う。

委員 安全・安心と身近な環境整備が重要だと思う。

委員から報告があったプランターは、商店街ではアメフトワールドカップ終了後も、いいじゃんかわさきが開催される10月頃まで飾る予定である。

委員 ラゾーナ川崎が川崎駅西口に完成してから、人の流れが変わってきている。そこで、文化活動と観光が重要だと思う。区内には、お正月の三が日に全国3位の人出がある川崎大師があるのだから、人の流れを年間を通じて絶やさないようにすることが必要だと思う。

区民会議を大師・田島支所で開催し、区民への周知を徹底することも提案したい。

委員 川崎駅周辺の美化が区民の一番の望みだと思う。安全・安心、特に自転車の通行も含めて、川崎駅周辺への自転車の乗り入れまで議論をしたいと思います。

区民のふるさと意識の醸成も一つのテーマだと思う。自分の育ったまちのコミュニティの関係を深め、大事なものや自慢できるものを褒めあえるように、区民のふるさと意識を醸成する活動ができたら良いと思う。

委員 安全・安心のまちづくりで、自転車のマナーや交通ルールを守って放置自転車をさせない、交通事故を起こさせないようにしていけば良いと思う。

新聞報道によると、自転車事故が増えていることから、国土交通省と警察庁は自転車の通行ゾーンの整備指針をまとめる方針を固めたそうだ。昔は広い道路にグリーンベルトがあり、車道とグリーンベルトの間を自転車が走り、歩道を歩行者が歩いていたため、事故が起こらなかつたのだが、道路を広げるためにグリーンベルトを壊してしまい、危険なために自転車が車道を走れず、歩道を走るようになって事故が増えた。

アメフトについてだが、先日向小学校の運動会に行った。PTA会長が大学時代にアメフトをやっていたようで、現在は高校生の指導をしており、昼休みに教え子の高校生がアメフトのプレイやチアリーディングを見せてくれて、とても感動した。

委員 安全・安心の中で自転車についてだが、駐輪場があっても自転車に乗る人のマナーが悪くて、放置禁止だとわかっていても駐輪してしまうと思う。行政や地域の自主的な取り組みでも、また、自転車に限らずごみ出しの問題でも、はみ出し陳列の問題でも、どこに置けば邪魔にならないかなど、関係する団体内部で意思統一をしていけば環境が整っていくと思う。

子育て・教育についてだが、川崎区は多摩川と海に接している。そこで、海洋教室のようなものを学校と協働で取り組んで欲しいと思う。地方では漁業で生計を立てている場合など、子どもたちは生活の中で自然に海というものを理解すると思うが、川崎の場合は、交通手段における海といった都市型の海に対する理解をもってもらいたい。自然の中の海であれば、干潟でのあさり採りも取り組みの一つだと思う。

委員 昨年度は次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援で、地域見守り看板の設置などに取り組んだ。

先日、中学生くらいの子供が小さい女の子と家の前で遊んでいるのを地域の人が見て、おかしいと思い警察に連絡したということがあった。自分の住んでいる地域でこういうことは起こらないと思っていたが、実際にはいろいろなことが起こるので、ながら見守り活動を徹底していかなければならないと思った。小さい取り組みをしていけば安

全・安心のまちにつながると思う。

自転車のマナーについては、地区ごとに色分けしたものを自転車に付け、どこの地区の自転車かわかるようにすれば、地域の人目が届くようになると思う。

委員 子育てに関心がある。いろいろな地域で子育てグループができていますが、その反面、母親クラブの会員が減ってきている。これは、新しく川崎に住むようになった人は町内会になじみがないため、自分たちのグループをつくっていることのようなのである。そのようなグループの活動を指導したり、支援したりするところがないので、例えば退職されたベテランの保育士さんに手伝ってもらおうといったようなシステムができると良いと思う。

大きい子どもたちの気になる行動などを相談できるところが少ないと思う。子どもたちの心を大人が汲み取ってあげなければならないが、なかなか難しいので、助言してくれるところがあると地域の人と一緒に子どもの心を考えることができると思う。

また、川崎区は夜でも明るいので、子どもたちが夜遅くまで出歩いている。夜遅く出歩かないようにすることを考えなければならないと思う。

アメフトワールドカップで外国の人が来るが、いろいろな国の言葉がまち中にあふれ、チラシも英語だけでなくいろいろな国の言葉で作れば多文化共生になると思う。

外国人は地震に対してあまり防災訓練をしていないので、外国人に防災を伝えることも必要だと思う。

委員 ほとんど各委員が述べたことと重複してしまうので、川崎が褒められたことを紹介する。

昨年、名古屋女連（地域女性連絡協議会）の人が川崎を訪れた際、川崎駅近辺でベビーカーをたくさん見かけ、川崎は子育て環境がいいのかと質問され、良いイメージを持ってもらうことができた。

アメフトワールドカップについてだが、チアリーダーが衣装も素敵で大変素晴らしいと聞いた。アメフトのルールがわからなくても、チアリーダーを見るだけでも楽しめることである。

高齢化社会における地域防災が重要だと思う。川崎区は住宅の密集度が高く、そこに高齢者が多く住んでいるので被害が大きくなると思う。いつ大きな災害が起こるかわからないので、川崎区ではそういう点に考慮して防災対策を立てて欲しいと思う。

委員 文化活動と観光事業の推進に興味がある。文化団体などにスタッフとして協力しているの、その経験から見ると区民もいろいろな活動をしている。例えば5月12日に区文化協会主催で俳句大会が行なわれた。酔花忌（すいかき）俳句大会というのだが、酔

花とは川崎ゆかりの佐藤惣之助の俳号で、命日の5月15日を記念して実施し、今年で12年になる。酔花忌というと5月を指すというのが川崎区だけのローカルルールだったが、だんだんそのローカルルールが他の地域にも広がってきており、もう少し実績を重ねれば全国に広がるのではないかと言う人もいる。

区民の活動はたくさんあるが、それが事業化できていないので、何かのきっかけや行政の協力を得て事業化することが大切だと思う。

観光事業は、俗な言葉で言えばグサイやり方をしているのが現状だと思う。そういう事業は文化化し、区民が取り組んでいる文化は事業化したいと思う。事業を文化化し、文化を事業化するという視点で行政との接点や区民同士、団体同士の接点を見つけられるようなテーマが良いと思う。

委員 区民会議は各区にあるので、川崎区区民会議では川崎区らしさを検討したい。自分が住んでいるまちに愛着と誇りを感じるため、区の強みを伸ばすようにすれば良いと思う。そういう意味で、資料1にあるもの以外では外国人にとって優しいまち、住みやすいまちという視点が必要だと思う。

都市計画マスタープランでも目指すべき都市像でものづくりのまちとうたっている。それはまさに川崎区そのものであると思う。産業観光などを行政も後押ししているが、もっと力を入れられれば良いと思う。

2007年問題と言われているが、今後数年間で団塊の世代が大量に定年退職し、地域に戻ってくる。女性は子どもを通じて地域とつながりがあるが、男性は居場所がない人が多い。そこで、そういう人を受け入れて、シニア世代を活かす方法は考えられないかと思う。

自転車については、自転車の悪いイメージばかりが取り上げられているが、普段利用していると便利なものなので、自転車道などの整備をして欲しい。

多摩川については、サイクリングコースが多摩川大橋から南の方はつながっていない。また、海まで行くこともできない。これらの状況を解消したいと思う。

区民の意見をもっと吸い上げる必要があると思う。区民会議アンケートの結果を見ると多くは50歳代以上の人の意見である。もっと若い世代、20、30、40歳代の人の意見を吸い上げるため、区民会議が広聴的役割を担っても良いと思う。大師・田島支所などに区民会議が出張してまちに住む人の声が反映されるようになれば良いと思う

委員長 23日の幹事会の報告を副委員長にお願いする。

副委員長 各委員から提案してもらった課題は分野も多岐にわたり、どれも重要であるが、これら全てに取り組むわけにはいけないので、課題を集約し、どのような方法で解決す

ればよいか検討をした。

区内の工場跡地にどんどんマンションが建設されており、多くの人が新しく区民になるが、そうすると新たな課題が発生する可能性もあると思う。

そこで、各委員から提案してもらった課題を基に、従来から区に住んでいる人と新しく区民になった人との地域コミュニティ、地域共同体といったことを共通の課題として大きく取り上げて全体を議論し、個々の課題は専門部会を設置して検討してはどうか。

昨年度の審議テーマである区のイメージアップはさまざまな課題につながっていた。つまり、明るく住みよい区にするということは区のイメージアップと同じことなので、いろいろな課題が集約されていた。

地域活動へのシニア世代の参加促進と地域防災の2つの部会を設置してはどうだろうか。それに対して各委員から意見をもらおうということでまとまった。

区民会議の周知については、有識者などの講師を招くのではなく、委員が中心になって区民会議集会のようなかたちで大師地区や田島地区などに出張し、区民に身近な場所で意見を聞こうと考えている。これは提案というよりも各委員に合意をしてもらい、実行に移したいと思う。

委員長 各委員からいろいろな意見を出してもらった。これらの意見は行政、行政と区民の協働、区民が取り組むものに分けられる。行政が取り組むものは、区民の声として行政や議員の先生に受けとめてもらいたい。

昨年度の審議テーマである区のイメージアップと次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援についても、引き続き取り組みを進めていく。特にはみ出し陳列については昨年度から議論をしているので、至急解決に向けて取り組みたいと考えている。

今年度の審議テーマは地域コミュニティの充実として、今日意見があったシニア世代と防災の問題を取り上げて検討を進めたいと思う。従来から区に住んでいる人と新しく区民になった人がお互いにコミュニケーションをとっていかないと地域はうまくいかないと思う。

委員 審議テーマを地域コミュニティの充実とすれば、シニア、安全・安心、子育てなどいろいろ関連すると思う。

委員長 審議テーマは地域コミュニティの充実とし、シニアと地域防災の専門部会を設置することにする。

以上で本日の議事を終了する。

お忙しい中最後まで出席してくれた参与の先生に助言をお願いする。

参与 議論の中で委員から川崎区の特徴を生かした課題を取り上げるべきとの意見があった。7区の中で海に面しているのは川崎区だけなので、別の委員から意見があったように海に関する取り組みも大事だと思う。これまでも市民団体が海苔づくり教室を実施している。また、来年の春ごろには東扇島に海浜公園が完成する。

自転車駐輪対策は各区共通の課題である。ノーカーデーになって週に1日くらい自転車に乗らない日を設定したり、国道15号から川崎駅側には自転車が入れないようにしたりすることを検討することも大切だと思う。

先日川崎駅周辺にスーパー防犯灯（赤色回転灯、サイレン、ドーム型防犯カメラ、インターホン、緊急通報ボタンを装備した街頭緊急通報システムの通称名）が5基設置されたので、ぜひ活用して欲しい。

「まちを花で飾る」については、地域の人だけでなく学校の児童・生徒も花を育てることが大切だと思う。そうすれば、取り組みが区全体に広がる。

参与 安全・安心の議論があったので、それについて提案がある。警察は神奈川県警だけでなく、川崎市にも川崎市警察部がある。区民会議で安全・安心の議論をする際、会議に出席してもらったらどうか。

先日、愛知県で銃の発砲事件があった。大師地区でガンショップが開店するので、万が一にもあのような悲惨な事件が起こらないようにして欲しい。

参与 アメフトワールドカップをきっかけに、区のイメージアップを図るよういろいろな知恵を出して取り組みをしていると感じた。開催が間近に迫っているので、私も全力でイメージアップにつながるよう取り組みたいと思う。

参与 委員からも紹介があったが、向小学校の運動会に行ったとき、子どもたちがぜひアメフトワールドカップを観戦したいと言っていた。

今日、富士見中学校、宮前小学校、向小学校、旭町小学校の4校連という会議あったが、その場でもどのように子どもたちにアメフトワールドカップを観戦させるかという話があった。子どもたちが生でアメフトを観戦して、将来プレーヤーになれば良いと思う。

事務局 < 専門部会について、会議録の作成、市政だより川崎区版への記事掲載、次回の会議日程などを説明 >

事務局 < お礼を述べる >

4 閉 会

午後 8 時 4 2 分 閉 会